

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

第 10 回 賢明な利活用及び地域振興検討合同部会 議事要旨

日 時：平成 30 年 3 月 7 日（水） 13 時 30 分～15 時 10 分

場 所：栃木市藤岡遊水池会館 2 階大会議室

出席者：別紙出席者一覧表（構成員：36 団体中 24 団体（33 名）

オブザーバー：4 団体中 0 団体（0 名）

< 議事要旨 >

※当部会については、栃木市が事務局を務めることとなっており、栃木市が部会長を担当。

栃木市遊水地課田村主査が司会進行。

(1) 開会

- ・司会より開会の辞

(2) 挨拶

- ・本会の部会長を務める、栃木市遊水地課 荒川課長より

【部会長】

- ・年度末の開催であり、今年度最後の部会となる。
- ・観光、エコツーリズムというテーマは、非常に範囲が広く、的が絞るのが難しい。
- ・プロのアドバイスということで、今回も JTB さんの協力をお願いしている。
- ・このアドバイスを参考にさせていただき、引き続きグループワークにより進めるので、忌憚のないご意見をお願いしたい。
- ・司会より配布資料の説明と確認あり

(3) 議題の (1) 「部会のテーマ及び進め方について」、(2) 「具体的テーマについて」

【議長】

- ・議題の (1) 及び (2) について、関連があるので、一括して事務局より説明をお願いします。

○事務局

- ・資料 1 に基づき説明を行う。(前回のグループワークでの意見等を含め説明)
- ・グループワークに先立ち、JTB 担当者より遊水地でのツアー造成におけるポイント等について、説明をお願いします。

【議長】

- ・非常に参考になった。
- ・ここで、小山市さんより、このテーマに関連して、情報提供いただけるとのことなので、お願いしたい。

○小山市

- ・担当課長より「小山市渡良瀬遊水地観光地化推進 5 ヶ年計画」の取組みについて紹介いただく。

○議長

- ・小山市さんの取組みの話も踏まえて、検討をお願いしたい。
- ・グループワークに移る前段で、進め方について事務局より説明をお願いします。

○事務局

- ・参考資料等を含め、グループワークの進め方について説明。

【A グループの意見交換の内容】

- ・遊水地の観光地化ということで、多くの人が入ることで良いのかとの意見もあった。
- ・保全と活用の両立を図るためには、観光等に活用する上でのルールづくり等も必要。
- ・歴史については、田中正蔵の話を中心に遊水地化に至る経過を含めて伝える。
- ・自然については、湿地再生・保全の取組みが進められている第2調節池が案内しやすい。
- ・冬は、野鳥をメインにすると案内しやすい。

【B グループの意見交換の内容】

■既にガイドを行っている渡良瀬遊水地野鳥観察会の取り組み状況

①渡良瀬遊水地の目玉の鳥 … 夏：オオセッカ、冬：チュウヒ

②野鳥観察会のメリット

- ・時期や時間帯によって見ることができる鳥が分かっている。
→ 今時期の夕方、40～50羽のチュウヒのねぐら入りを見ることができる。
- ・珍しい鳥が見られる。

③古河市の水辺の学校の場合

- ・対象：小学生親子
- ・コース：自転車で北ブロック・谷中ブロックを1周
- ・時間：3時間（内2時間程度、野鳥観察）

※冬の干し上げ前に開催

④今後の展望

- ・第2調節地は、今後、大型鳥類が飛来することを期待し、楽しみにしている。
- ・谷中村役場跡は、昔は良かったが今は良くない。

⑤メンバーからの提案

- ・野鳥観察の際に、ヨシ、オギ、ススキの違いを現地で案内すると面白いのではないかと。

■ガイドについてアクリメーション振興財団の取り組み状況

①どこをメイン（植物・歴史・野鳥など）に案内してほしいか伺った上で対応

②野鳥の場合は自転車を活用

③小学生の案内は、時間内の範囲で実施（子ども広場集合 → ウォッチングタワー → 史跡保全ゾーン → 体験活動センターでビデオ）

④一般の案内は、時間の許す限り実施

⑤参加者からは、遊水地の機能について関心が高く、治水施設（排水門や越流堤など）を見たいといったニーズが高い。

⑥歴史の説明を求められた時が一番難しい。

■その他

①遊水地の機能を案内する機会として、排水機場の中に入れると目玉になるのではないかと。

○事務局

- ・各グループより報告のあった内容について、JTBさんのコメントをお願いした。

○JTB

・時間帯別の案内の話が出ていたが、早朝や夕方の野鳥観察などは、農泊などと組み合わせるのも良い。周辺地域を含めた滞在時間が増え、それに伴う経済効果等も生まれる。

・治水をテーマとして、学んでもらうのも良い。掘り下げていくと非常に興味深いところも見えてくる。

- ・グループ内の意見にもあったとおり、保全のために、人がたくさん入り過ぎないためのルールづくりも大切である。
- ・たくさんの方が来る状況になれば嬉しい誤算だが、その場合には人数制限するのも1つの方法であり、制限により希少性も出てくる。
- ・ルールづくりとともに、色々なアイデアも考えると良い。
- ・自然や歴史については、色々とストーリーを考えていくと良い。
- ・地方の方言なども交えて、おもしろおかしく伝えていくのも良い。
(参考資料として「地恵のたび」のパンフを提示)
- ・地域の歴史や自然や文化について、単なる観光旅行ではなく、学んでもらうようなコンテンツを紹介している。
- ・このパンフに掲載できるようなコンテンツを考えるところを、ぜひゴールとしていただきたい。

○事務局

- ・以上で、グループワークを終了する。
- ・今回の議論を踏まえて、次回も引き続き検討をしていきたい。

【議長】

- ・よろしければ、以上で、議事終了とする。

(4) 情報交換

○事務局

- ・渡良瀬遊水地野鳥観察会より提供の資料について、説明をいただく。

(5) その他

○事務局

- ・平成30年度の協議会活動スケジュール(案)に基づく部会開催日程等を説明
- ・その他、何か協議事項等があればお願いしたい。
- ・特になし。

(6) 閉会

- ・司会より閉会の辞